



〈公開〉 生と死とその後

死生学研究

- | | | |
|--|--|----------------------------|
| □ 会場 東京都港区六本木5-14-40 新マーガレット・クレイク記念講堂 (東洋英和女学院大学院隣り) | □ 最寄駅 六本木駅(日比谷線徒歩10分) 麻布十番駅(大江戸線徒歩5分、南北線徒歩7分) | □ 参加費 500円 本学院在校生・教職員無料 |
| □ 全て自由席 | □ 事前申込み 不要 | |

第3回連続講座コンサート

河野和雄 (本学院オルガニスト) + 中高部合唱部

6月25日(土)
15:00-16:30
(受付14:30から)

オルガンと合唱による「慰めの音楽」 フォーレルクイエムより、ギ・ボヴェ/スヴィニー組曲(映像付)他

■ プロフィール

東京藝術大学修士課程修了(器楽研究科、オルガン専攻)。ウェストファレン州立教会音楽大学に留学、オルガン、指揮法を学ぶ。キリスト教音楽学校、日本聖書神学校非常勤講師、日本キリスト教団田園調布教会オルガニスト、聖歌隊およびハンドベル指揮者。

■ 主要業績

国内各地、ドイツで演奏活動を行う。「プラームスのオルガン音楽」『礼拝と音楽』32号、日本基督教団出版局、1982年。「賛美歌の自由な演奏および多様な伴奏」東洋英和女学院中学部(高等部編)『論議』20号、東洋英和女学院、1996年。「オルガンの歴史」『続』滝野川教会、2003年9月~05年10月。「アーバーハルト・クラウス『オルガンとその音楽』」太田良子・原島正編『私が出会った一冊の本』新曜社、2008年。

内容紹介： 悲しみにあるとき音楽は人に癒しと慰めをもたらします。今回のコンサートでは穏やかな慰めに満ちた音楽を中心に選曲しました。この度の大震災の多くの犠牲者を覚えて、バッハの葬送カンタータからシンフォニア、フォーレルクイエムより「楽園に」、讚美歌なども演奏いたします。スヴィニー組曲はフランスの小さな町の教会にまつわる伝説にもとづいて作曲された組曲です。今回は各曲にちなんだ映像とともに演奏します。



演奏曲目：バッハ/カンタータ106番よりシンフォニア、ラインベルガー/

タペの歌、ラッター/クリア・ベネディクション、ギ・ボヴェ/スヴィニー組曲 他。



東洋英和女学院合唱部

中高部のクラブ活動として校内、校外で活発に活動している。NHK学校音楽コンクールや東京ヴォーカルアンサンブルコンテストでも毎回上位に入賞している。

〈新刊〉 2,500円+税 一般書店でご注文・ご購入いただけます

東洋英和女学院大学 死生学研究所編 (リトン刊)

『死生学年報2011 作品にみる生と死』

お問合せ先

東洋英和女学院大学死生学研究所
shiseigaku@toyoeiwa.ac.jp
03-3583-4035 (fax専用)

福田 周
松岡秀明
藤尾 均
服部健司
前川美行
鈴木桂子
渡辺和子
谷川章雄
奥野滋子
杉木恒彦
鶴岡賀雄

金子みすゞの作品と生涯にみる生と死—分析心理学の視点から—
熱情と冷静さ—歌人長塚節は結核をどう生きたか—
医系文学でたどる死生観の変貌—昭和から平成へ—
ケースで考える臨床現場の倫理
夢分析で語られる〈死〉について
ヒルデガルト・フォン・ビンゲン—幻視と生きる—
ギルガメシュの異界への旅と帰還—「英雄」と「死」—
江戸の墓と家と個人
伴侶を亡くした男性の二事例—緩和医療現場での学び—
“不死”のインド宗教史—密教の成就者たちの“不死”の死生観—
死後の生—死生学における〈宗教の領分〉—

Annual
of the Institute
of Thanatology,
Toyo Eiwa University

死生学年報

●作品にみる生と死
2011
東洋英和女学院大学
死生学研究所編



LITHON